THE ROTARY CLUB OF TAKATSUKI　国際ロータリー　第２６６０地区

高槻ロータリークラブ
2020～2021
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

Ⅰ．真実かどうか

Ⅱ．みんなに公平か

Ⅲ．好意と友情を深めるか

Ⅳ．みんなのためになるかどうか

事務所　〒569-1116　高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
TEL　072-683-1158　　FAX　072-683-1174
URL　　http://www.takatsukirc.org/
E-mail　takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp
例会日　毎週水曜日　12:30～13:30
例会場　高槻阪急 6 階 多目的ホール　TEL　072-684-5379
創　立　1954 年 6 月 15 日
会長　井前憲司　**幹事**　内本繁　**クラブ運営委員長**　長山正剛　**会報担当副委員長**　坂野信一

No.29　　2021 年 2 月 24 日　発行

２月は平和構築と紛争予防月間

◎臨時休会のお知らせ

・2/10(水)の理事会で、緊急事態宣言の途中解除があった場合でも3/3(水)までの例会は臨時休会とする事に決まりましたので、2/24(水)・3/3(水)の例会は引き続き休会と致します。3/10(水)以降の例会につきましては、改めてご連絡申し上げます。

◎会長のメッセージ

最近「民主云々」という言葉がいろんなところで使われています。ミャンマーの民主化、バイデン大統領の就任演説、古いところでは自由民主党や立憲民主党など民主が使われています。民主主義について改めて見てみたいと思います。この起源は、紀元前５世紀頃の古代ギリシャのアテナイで始まった制度です。もちろん人類の歴史３７０万年前からは様々な組織（群れ・グループ）が作られ似たような制度があったかも知れません。しかしギリシャの小地域アテナイで紀元前５世紀に確立したこの制度は、いまや先進国の政治その他の基本的な考え方として連綿として受け継がれている。一方蛇足ですがインドに始まった仏教も釈迦が５人に説いたのが始まり（初転法輪）と言われています。紀元前５世紀はすごい時代であった。このいずれも紆余曲折しながらも、芯となる考え方は現代にも引き継がれています。さて、古代アテナイで始まったこの制度は大きな特徴が３つ有ります。一つは人々がこの制度やメンバーであることを誇りに思っており、集会決定は自分たちで議論して決めていく（民会）。それで、決まったことについては反対であったとしても従うというのも誇りであった。対立意見があるからこそ議論が成り立ち仕組みが強化されるとされていた。納得に基づく「自発的な服従」と言われています。議論ののち従うという技術を発明したのがギリシャ人であった。第２の特徴は、議論は平民から成り立っており、自由な独立した人々の間において相互的な支配が成りたっていた。第３番目は王や貴族達も相対的な力は強くなく、農民と同じレベルであったことです。すべての公職は抽選で選ばれました。現代と違うところは女性参加、奴隷参加が無かったことです。（最近も女性蔑視や、会議に出ても良いが発言はだめというニュースがありましたが、その人たちの頭は残念ながら２５００年前レベルといえます）。こうしたアテナイ人の制度に対する誇りはバイデンさんの大統領就任演説でも随所にみられました。感銘したのは、反対意見の人たちへも誠心誠意説明し、それでも意見の違いがあるならそれでいい、それが民主主義だと言い切っています。平和的に異議を唱える権利は（多分中国やロシアと違って）アメリカの最も偉大な強みだが、同時に意見の不一致で分裂を起こさないようにしよう、と言っています。同感で、古代ギリシャの民主制度と全く同じ考え方と思います。同時にバイデン演説中、民主主義で最も定義が難しいものが団結と言っています。現実に目をやれば、アメリカは様々なかつ深刻な分断が進んでいます。広がる経済格差、人種差別など数え切れない分断があります。どう団結のプロセスを築いていくのか、アメリカの問題でもあり、世界の問題でもあります。ところで、近代の社会契約論を参考に見ていけば、共同体に加わる契約は全員一致でなければならない（逆に言えば賛成しなかった個人は共同体の一員になりません）、その後の共同体の意思決定では多数決を認めることになっています。さて、民主主義についての基本的な考え方でいくなら、高槻ロータリーでの意見の違いが有った場合どう調整していけばいいのでしょうか。コロナ禍の時、また ZOOM 例会が確立していない中、少し難しい問題ですがいかがでしょうか？これで会長メッセージといたします。なお「民主主義とは何か」宇野重規を参考にしました。

◎幹事報告

・本日はございません。

◎委員会報告

・本日はございません。

ロータリーは機会の扉を開く

ホルガー・クナーク　RI 会長